

# 立毛乾燥による飼料用米の燃料代削減

福島県農業総合センター 作物園芸部稲作科

## 1 部門名

水稲 - 水稲 - 収穫・乾燥・調製

## 2 担当者

藤田智博・佐久間祐樹

## 3 要旨

中通りで飼料用米(鉄コーティング直播、「ふくひびき」)を水田で立毛乾燥して籾水分を減少させ、収穫後は通風乾燥だけで燃料代を削減することができた。

(1) 10月中旬以降籾の水分率が15%程度まで減少するが、その後は停滞するので速やかに収穫する(図1)。

(2) 朝は籾水分が高く、12時頃までに急激に減少する。また、降雨後は籾水分は低下するので、収穫作業は降雨後3日程度経過したお昼頃を目安に籾水分率を確認して開始する(図2)。

(3) 立毛乾燥した籾(水分約15%)は収穫後乾燥機で通風乾燥だけで、玄米水分を15%以下にできる(図3)。

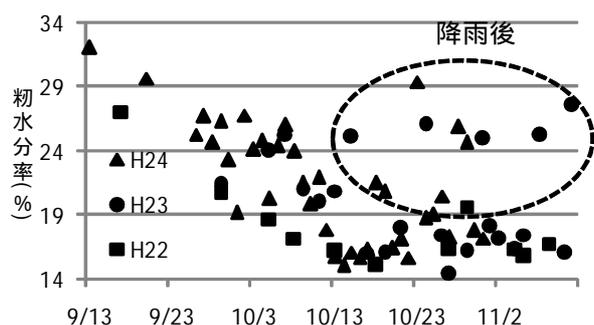


図1 水分率の日変化(11時調査)

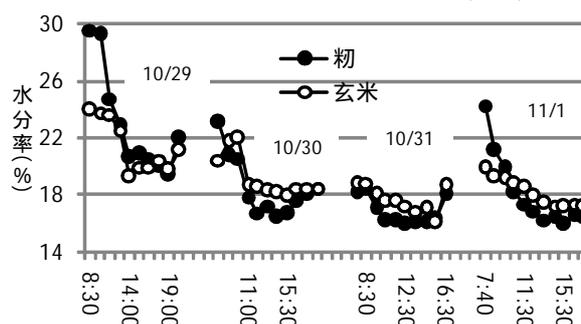


図2 水分率の1日の変化

注) 10/28は23時まで降雨、11/1は朝霧。

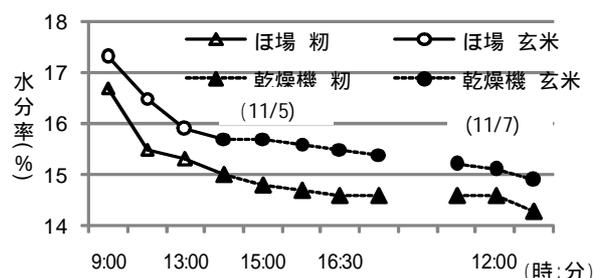


図3 立毛乾燥籾の通風乾燥の水分率変化

注) 最高気温は16.4と16.1、11/6は降雨のため未通風。

## 4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成22年度～24年度

(2) 研究課題名 飼料用稲の有機質資材活用による多収栽培技術の開発

(3) 参考となる成果の区分 (指導 参考)

## 5 主な参考文献・資料

(1) 平成22年度～24年度センター試験成績概要